



KIRYU JC NEWS

2021 Vol. 9-1

万 千
紅 紫
KIRYU 65th Anniversary



9月第一例会「創立65周年記念事業」

2021年11月6～7日に桐生市立青年の家に於て、創立65周年記念事業「子どもがしるまち」/「いきりゆう2021」が開催されました。創立65周年記念事業部会では、「千紫万紅く変わらぬ想いを、この先へ」のスローガンのもと、このまちの将来を担う子どもたちが自身の将来を想い描く為には、まちを知り、桐生市・みどり市への郷土愛を醸成する必要があると考えました。

そこで、「ドイツ・ミュンヘンを発祥とする教育プログラム「子どもまち」を開催し、子どもが自ら考え運営する仮想のまち「いきりゆう」の中で「労働・納税・消費」といった一連の社会活動を通して、遊びながら社会の仕組みを学ぶとともに桐生市・みどり市の特色を生かした中で、このまちの人や文化、魅力を感じ、多くの学びを得てもらいたいと考え、また事業開催に向けてまちのルールや仕組みを決める為、桐生市・みどり市の小学校4～6年生40名で構成される「子ども会議」を4月から月1回のペースで全5回開催しました。

子ども会議では市長・副市長を参加者の中から選挙で決めることもに、まちのルールや流通する通貨の名称や種類をはじめ、市歌・必要な仕事・告知ポスターといった様々な決め事を、チームに分かれて行い準備を進めました。

事業当日は、天候にも恵まれ2日間とも晴天の中行つことが出来ました。初日におかれまして、子どもたちをスムーズに、案内出来ない部分もございましたので、初日終了後に色々と反省点を出し合い、2日目においては、配置を変えたりしてより案内がわかるようにいたしました。

2日間を通して多くの子どもたちに参加していただき、楽しんでいただきました。この例会を通じて子どもたちにも桐生市・みどり市の魅力等が伝わり、社会の仕組みが学べたのではないかと思います。

また次年度以降も行っていただきたい声も多くいただけたことも嬉しい限りです。